

こ ん に ち は 、 小 川 あ き ら で す 。

きらきら通信

春号
2022.4月

議会報告

豆知識

若者や女性の政治参画を呼びかける県議会メッセージ

令和4年度当初予算のポイント

ぐんまの家計簿

障がいのある人の文化芸術活動を考える

麦わら屋の作家たちてん

アトリエART・ON展 2022「かどで」

インクルーシブ群馬フォーラム

インターネット上の誹謗中傷等の
被害者支援等に関する取り組み

群馬県立歴史博物館に
【デジタル埴輪展示室】がオープンしました！

群馬県議会議員 リベラル群馬

新緑のケヤキ並木が目にあざやかに映るこの頃、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

長引くコロナ禍に続くウクライナ危機により、暮らしや経済、政界情勢に対する不安やストレスを抱えている方も多いと思います。「自分は大丈夫!」と信じていても無意識に身体や心に負担が募っていることもあります。健康的な食生活と十分な睡眠と笑顔を大切に、自分の心と体を癒す時間を意識的に作るようにしましょう。

さて、おかげさまで3期目の当選を果たしてから3年が経過いたしました。今期はコロナ対策とCSF対策に費やす時間がほとんどでしたが、児童虐待対策や障害者差別解消法の推進、自殺対策、総合型地域スポーツクラブの振興と部活動の地域移行、農林業の地産地消(循環型社会)に向けた取り組みなど、重要な課題にも取り組んでまいりました。3期目の最終年も、多くの人とつながって、この地域に住み暮らす私たち一人ひとりが、自分らしく輝ける社会を目指して全力で取り組んでまいります!

議会報告

令和4年第1回定例会が2月16日から3月18日までの31日間の会期で開催されました。今議会では「新型コロナウイルス克服+新展開実現予算~困難を乗り越えて、飛躍を目指す!!~」と銘打った総額8187億600万円の令和4年度一般会計当初予算案をはじめ、2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例など合計86議案の他、養豚場を豚熱から守るための意見書やロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議などを可決しました。

若者や女性の政治参画を呼びかける県議会メッセージ

県議会最年少の牛木議員と一緒に、若者や女性の政治参画を呼びかける県議会メッセージ動画に出演させていただきました! 32階のツルノスで撮影したもので、桐生高校と渋川高校で開催した『GACHI高校生×群馬県議会』の様子や、女性議員の比率などをわかりやすくまとめています。

是非ご覧ください、県議会を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

群馬県公式 YouTube



県議会の豆知識

令和4年度当初予算のポイント

前年比+536億円増、平成20年以降では過去最大の予算規模

① コロナの当面の危機を突破し、長期戦を戦い抜く

- ワクチン接種の促進 26億422万円
- 相談・検査体制の確保 59億4296万円
- 医療提供体制の確保 720億9913万円
- 企業活動の継続支援(制度融資) 融資枠1600億円
- ストップコロナ対策認定制度 2億6463万円



② Next Leap 2022 ~ 飛躍への新たな一歩

- ぐんま再生可能エネルギープロジェクト 23億9772万円
- ぐんまゼロ宣言住宅促進 1億550万円
- リトリート環境整備 2億17万円

リトリートとは?

数日間住み慣れた土地を離れて、仕事や人間関係で疲れた心や体を癒す過ごし方のこと。県内の温泉や農畜産物を体験してもらい、群馬をリトリートの聖地にするための環境整備に取り組みます。



【教育イノベーション推進】

- ニューノーマル GUNMA CLASS PJ 8億7550万円
- オンライン学習サポーター配置 8659万円
- 夜間学校設置促進 600万円

【災害レジリエンスNO.1の実現】

- 防災インフラの整備・避難のサポート 276億9487万円
- 災害派遣等トレーラートイレ導入 2650万円
- ぐんまちゃんのブランド化 4億3184万円

予算の詳しい内容は【群馬県令和4年度当初予算の概要】をご覧ください



③ 財政の健全化

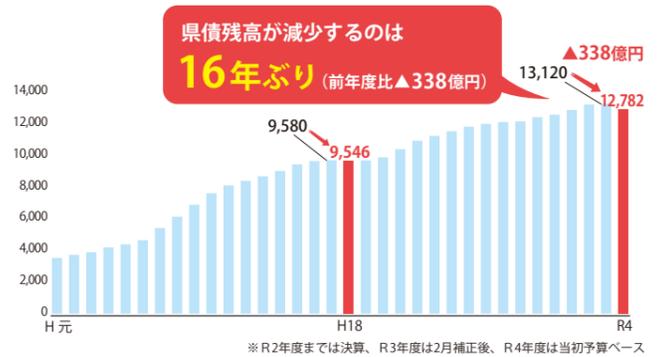
1 基金残高の確保 (当初予算時)



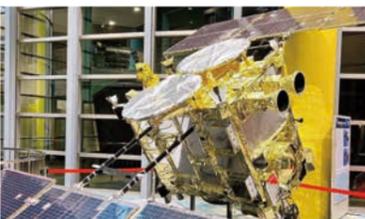
2 県債発行額の抑制



3 県債残高の縮減



夢みる小学校舞台挨拶



おかえり はやぶさ2-帰還カプセル特別展-



麦ふみ



上毛かるためぐり



ヘラルボニーバディウィーク



分身ロボットカフェ Dawn



第26回機械要素技術展



グローバル始動人×湯けむりフォーラム



令和3年度の群馬県予算 **ぐんまの家計簿**

8187億600万=818万円にたとえてみました! (10億円=1万円)

収入の部		支出の部	
給料(県税)	258万円	生活費(人件費)	216万円
ボーナス (地方消費税・地方譲与税・地方交付税)	268万円	医療・介護・教育費 (扶助費・補助費)	320万円
親からの仕送り (国庫支出金)	165万円	ローンの返済(公債費)	99万円
銀行借入(県債)	59万円	家の修繕、防災対策(公共事業)	89万円
貯金の取崩し	29万円	その他(貸付・貯金など)	94万円
その他	41万円	合計	818万円
合計	818万円	ローンの残高(県債残高)	1278万円
		貯金(財政調整基金)	18万5000円

コロナ禍でも堅調な業績 前年比 +10.0%

コロナ緊急包括支援交付金など 前年比 +34.4%

借入れの大幅減 前年比 -47%

前年比 +124%

このうちコロナ対策は86万円

高齢化による社会保障費増+ コロナ対策で増えています!

前年比 -338億円 県債残高の減少は16年ぶり!

災害などの緊急時に備えてしっかり確保!

井田議長のウクライナ大使館訪問 2022.3.28

ロシアの侵攻により、ウクライナでは多くの人的、物的被害が出ており、現在も避難民は増え続けています。群馬県議会では、避難民等への人道的支援に役立てていただくため、全議員から義援金を募り、議長が代表して、駐日ウクライナ大使館へ届けてくれました。



インターネット上の誹謗中傷相談窓口

群馬県では、SNS等の悪質な投稿に苦しむ被害者を支援するため、全国に先駆けて令和2年12月に【インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援等に関する条例】を制定しました。条例制定から1年で500件を超える相談が寄せられています。インターネット上の誹謗中傷やプライバシー侵害等で悩んでいる方、解決方法が分からない方は、一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

インターネット上の誹謗中傷相談窓口

インターネット上の誹謗中傷相談窓口

- 電話相談：027-212-0091 月～金 9時～16時 (※12時～13時を除く)
- 相談フォーム 24時間受付

群馬県交通安全条例の改正(2021.4)から1年、自転車保険の加入率とヘルメットの着用率はどうなった?

改正群馬県交通安全条例の施行以降、自転車活用推進啓発チーム「GMET」による街頭啓発活動のほか、県警や教育委員会と連携した取り組みを行い、県民の自転車保険加入、ヘルメット着用の促進に取り組んできました。条例改正後の状況を把握するための県民アンケートの結果、すべての年代で保険加入率、ヘルメット着用率ともに向上していることがわかります。

区分	本年度回答者数	保険加入率		ヘルメット着用率	
		昨年度	本年度	昨年度	本年度
小学生以下	6,302	55.2%	63.7% (+8.5)	62.1%	83.6% (+21.5)
中学生	5,336	87.2%	87.6% (+0.4)	72.3%	93.3% (+21.0)
高校生	8,867	73.2%	75.7% (+2.5)	6.1%	33.6% (+27.5)
一般	1,902	55.3%	67.6% (+12.3)	10.5%	26.4% (+15.9)



ヘルメットの着用率は??

■自転車保険の加入は「義務」です!
自転車事故による高額賠償事例が増えていることから、自転車保険の加入が義務化されました。未成年者が利用する場合は保護者に加入義務があります。まずは自分が自転車保険に入っているかどうか(保険の有効期限が切れていないかどうか)をチェックしてみてください!

群馬県が認定している自転車保険は [こちらから](#)



■ヘルメットの着用は努力義務です。
自転車事故の致命傷の6割は頭部損傷によるものです。ヘルメットの着用により致死率は1/3に下がるといわれています。命を守るためにヘルメットをかぶりましょう。誰でも気軽に利用できる自転車だからこそ、みんなが安全を意識することが大切です!

群馬県立歴史博物館に【デジタル埴輪展示室】がオープン!

高精細3Dデータを活用した国内初の埴輪の3Dホログラム展示や埴輪発掘の擬似体験や埴輪の復元パズルが楽しめる『はにわ研究所』など、最新のデジタル技術を導入した「デジタル埴輪展示室」がオープンしました。(常設展示室の一番最後のコーナーです) このデジタル展示室は文化観光推進法に基づき認定された【群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画】の一環で、令和3年度に4950万円で整備したものです。令和2年～6年の5か年計画で、群馬県立歴史博物館を拠点に周辺の文化資源と県内温泉地等を周遊する文化観光を促進していく予定です。

群馬県立歴史博物館 HP



日本一の埴輪県から、埴輪の魅力を若い世代や歴史に高い関心のない方々にもわかりやすく紹介するためのウェブサイト【しらべるHANI-図鑑】と合わせてお楽しみください。こちらのサイトでは、群馬県出土埴輪201体と国指定重要文化財などに指定されている他県出土の埴輪44体が紹介されています!

【しらべるHANI-図鑑】はこちら



機械要素技術展@東京ビックサイトの群馬県ブースにお邪魔しました！ 2022.3.17

『日本ものづくりワールド2022』という製造業向けの大規模な展示会で、機械要素技術以外にも、ヘルスケア医療機器開発や、ものづくりAI/IOT、次世代3Dプリンタ、航空・宇宙機器開発など各部門が一堂に集まっていました。

群馬県では、昨年の第3回後期定例会で機械要素技術展への出展を支援するため1600万円の予算を可決し、およそ30社の出展企業を募集。単独出展する場合には70万円ほどの出展費用がかかるのですが、県で小間料やブースの装飾、電気・照明工事費用、電気使用料などを負担するので、企業の皆さんは1ブース15万円の費用で出展できる仕組みになっています。(最終的に31社の出展となりました。)

企業の皆さんにお話を伺うと、「コロナ禍で展示や商談の機会が減っていたので、久しぶりのPRの場になった」、「やはり実際に合って商談ができるのが嬉しい。オンラインだとなかなか伝わらないこともある」など、概ね好評な様子。



県の予算が、しっかりと地元企業の皆さんの支援や販路拡大につながっていることが実感できて嬉しいです！会場を見渡すと、群馬県と同じように都道府県単位や市町村単位で出展している自治体が多くあり(県内では他に伊勢崎市が出展)、それぞれの自治体で見せ方や力を入れている分野の違いなどもわかって、とても勉強になります。(企業誘致のPRをしている自治体が多かったです)単独出展するよりも大きなスペースでインパクトを与えることができるので、今後も県として積極的に展示会への出展を支援していきたいですね！



【tsukurun-GUNMA CREATIVE FACTORY-】がオープンしました！

前橋駅前のアクエル2階にクリエイティブ人材育成の拠点となる【tsukurun(ツクルン)】が誕生しました。この施設では、PCやVR(仮想現実)、グリーンバック撮影スタジオ、モーションキャプチャーなどの機材や、3DCG、2DCG、ゲームプログラミング、VFXといった最先端のデジタル技術を無料で自由に使うことができます。利用対象は小学生～高校生まで。子どもたちのワクワクがカタチになる、そんな拠点になりますように。

詳細や登録はtsukurunサイトから



最先端のスマート農業を調査！

2022.3.29

昨年からイチゴの栽培にチャレンジしている藤岡の【フルッティロッシ】さんにお邪魔しました。

ハウス内には最新のIOT技術が導入されていて、科学的なデータに基づいた環境制御型の栽培が行われていました。ハウス内の温度や湿度、炭酸ガス濃度、照度等を数値で把握して、炭酸ガス濃度や温度を自動で管理する仕組みで、しかも機械を動かすエネルギーにクリーンエネルギーLPガスを使用することで重油と比較して約15%の温室効果ガスを削減できるそうです。(地球に優しいのはもちろんですが、今後一般化していけば重油の高騰対策にもなりそうですね。)

この数値データはスマホでも管理できるので、自宅にいても旅行先においてもハウス内の状況がわかるとのこと。

また、紫外線を照射してイチゴの免疫機能を活性化させ、



うどん粉病などの発生を抑制するシステムも導入。農業を散布しなくてもよいので人にも優しい栽培方法となっています。

その他にも天敵農法を取り入れたり、灌水・養液栽培システムでは廃液の測定も行うなど、人と地球に優しく、科学的なデータに基づいた農業が実践されていました。

説明してくれた柴山さんは「農業1年目で、ベテランの皆さんのように経験や勘に頼れないからこそ、データに基づいて原因と結果を一つずつ確認しながら栽培に取り組んでいる」と話していましたが、新規就農とは思えないくらい知識も豊富で、最先端のスマート農業を取り入れながらも、一株一株の苺と真剣に向き合って葉っぱの数を調整したり摘果したりと時間をかけて大切にイチゴを育てていました。イチゴ愛にあふれている柴山さん(*^_^*)今後の活躍に期待しています！！

フルッティロッシさん



群馬県では【G-アナライズ&PRチーム】を立ち上げ、群馬県産の農畜産物の「健康」などに関わる成分を分析し、その成果を販売促進等に活かしています。ぐんまのいちご「やよいひめ」のレポートでは、ポリフェノールやビタミンC、そして総合的な抗酸化力(H-ORAC)などの数値が高いことがわかりました。美味しさだけでなく、老化やがん、生活習慣病の予防が期待されています。

レポートはこちらからご覧ください



H30農水省 農林水産統計データ

面積	115ha (全国12位)
出荷量	2,960t (全国11位)
産出額	36億円 (全国占有率2%)

このほか、群馬県のほぼ全域で栽培されています！

障がいのある人の文化芸術活動を考える

2018年6月に「障がい者による文化芸術活動の推進に関する法律」(障がい者文化芸術活動推進法)が施行されました。この法律は、障がいのある人が文化芸術(音楽、映画、絵など)を鑑賞したり創造したりするための環境整備などを目的としています。

具体的な取り組み

- 文化芸術の鑑賞・創造の拡大
- 作品を発表する機会の増加
- 芸術上価値が高い作品の保護や評価
- 相談体制の整備や人材育成
- 施設のバリアフリー化
- 障がい者の文化芸術活動の推進に関する都道府県計画の策定など

また、地域における支援推進拠点である【障がい者芸術文化活動支援センター】の設置が全国で進められており、2021年度末の段階で37都道府県に設置されていますが、群馬県は未設置となっています。

今回は県内における障がい者芸術活動に関する勉強会や展示会の様子をレポートします！

レポート 1 麦わら屋の作家たち 2022.2.21

障がい者の芸術活動に取り組んでいる【NPO 法人麦わら屋】さんのアート作品展にお邪魔しました。個性豊かな素敵なアート作品がいっぱい！作家さんの紹介やオリジナルグッズの物販は公式HPからもご覧いただけます。

NPO 法人麦わら屋さんのHP



理事長さんからお話を伺うと、芸術活動は障がいを持った方にとって重要な社会活動の一つで、日頃の創作活動を続けることで作家さんたちの実力はメキメキ上がっているそうです。一方でまだまだ障がい者アートの知名度が低く、発表する場が少ないので、まずは多くの人にアートとして見てもらう機会を増やしたいとのこと。

障がい者アートは新しい分野で、福祉的な目線ではなく、芸術活動としての広がり重要です。「障がい者芸術文化活動支援センター」の設置を含め、どんな支援が必要なのか、行政や地域の関わり方もしっかり検討していく必要がありますね。

ちなみに、麦わら屋さんでは、アート活動以外にも、メダカの飼育や農作業、味噌造り、草刈り出張サービスなど色んな活動をしているそうです。お味噌や麩、豚肉、雑貨などなどオンラインショップからも購入できるので、こちらも是非覗いてみてください。



レポート 2 アトリエART・ON展 2022「かどで」 2022.3.7

高崎のNTT 東日本 YOU ホールで開催されているアトリエART・ON展にお邪魔しました。絵画や立体造形など見応えのある素敵な作品が並んでいますが、この作品の選定や額装、額加工、展示会の設営まで、作家さんたちが自ら行っているそうです。会場の運営も作家さんたちが交代で行っていて、作品に込めた思いや工夫など丁寧に説明してくれました。(作家さんと直接お話できるのが嬉しいですね！)

障がい者文化芸術活動推進法が施行されてから、障がい者による創造活動の創出や、鑑賞機会の拡大に向けて各自治体が動き出しています。作家さんや事業所だけでなく、行政や民間企業、地域住民みんなが関わって地域に根ざしたアートや文化を育てるという視点が大切です。地域に障がいの有無にかかわらず、アートを創造、鑑賞できる環境を整えていきたいですね。

※東京電力パワーグリッド高崎支社の壁画もアトリエART・ONの作品です。こちらも迫力があります！



レポート 3 インクルーシブ群馬フォーラム 2022.3.21

特定非営利活動法人DPI(障がい者インターナショナル)主催のインクルーシブ群馬フォーラムが高崎市内で開催され、私も参加してきました！(DPIの崔さんに会うたびに「群馬でイベントやりましょう!」としつこく絡み続け(笑)実現したフォーラム。DPIの皆さん、ありがとうございました！)

第1部のバリアフリー映画「インディペンデント リビング」の上映では、聴覚や視覚に障がいのある人でも障がいのない人と同様に映画を楽しめるように、バリアフリー字幕(セリフ部分だけでなく、泣く・笑うなどの感情を表す音、靴音などの人が立てる音、雨や風の音などの背景や、BGMがあることも字幕で表示されます)や音声ガイド(その場面の説明や、登場人物の動作や表情などセリフは表しきれないものを解説する音声)を付けて映画が上映されました。

私も音声ガイドを体験させていただき、目をつぶって映像をイメージしながら楽しませていただきました。

年に公開される映画は約1200本とされていますが、そのうちバリアフリー対応のものはずか100本ほどしかないそうです。



障がい者差別解消法の改正では民間事業者にも合理的配慮の提供(障がいのある人が、障がいのない人と同じように活動できるようにするための支援や環境整備)が義務化されますが、映画の事例をひとつとっても、受付や売店の配慮、座席の配慮、バリアフリー字幕や音声ガイドの有無など課題が多いことがわかります。

最近はインターネットで座席予約をするのが当たり前になっているけれど、テキスト読み上げ機能に対応していないので視覚障がい者にとっては利用しにくくなっています。

法改正を受けて、社会全体で合理的配慮について考えていく必要がありますね！

ちなみに、映画の内容は、重度の障がいがあっても地域で自立して生活できるように必要なサービスを提供する【自立生活

センター】を舞台にしたドキュメンタリーですが、自立の本当の意味や障がい者支援とは何かを改めて考えるきっかけになりました。

「自立」は一人で生きていくことではなく、信頼できる誰かと支えあいながら、自分の人生を選択していくこと。自立生活には様々なリスクや責任が伴うこともあるけれど、それでも自分の人生を自由に生きたいという障がい当事者の懸命な姿やそれに関わる家族や介助者の葛藤や変化といったリアルな人間模様は、障がいの有無に関わらず「生きる力」がいっぱい詰まった映画でした。

この自立生活センターは全国に121ヶ所(2019年時点)あるようですが、なんと群馬県内には1ヶ所しかないとのこと。家族による介助と事業所の利用だけではなく、障がい当事者が地域で自立した生活をおくるという視点を群馬でも広げていきたいですね。

インディペンデントリビング公式サイト



後半のパネルディスカッションでは、パネリストの木暮奈央さん(ココフリ群馬)、石川京子さん(笑って子育てロリポップ)のそれぞれの活動を伺いながら、文化芸術を楽しむための合理的配慮についてみんなで考えました。

やはり大きいのはトイレ問題。地域のお祭りやイベントなどでは車椅子が利用できるトイレがあるかどうか、ユニバーサルシートがあるかどうかで、参加意識が全く違うそうです。公共施設や観光地、地域のイベントのバリアフリー情報やトイレ情報をもっとわかりやすく共有できる仕組みが必要ですね。

ココフリ群馬



笑って子育てロリポップ



活動報告

主な地元活動・参加行事
(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 2月 6日 麦ふみイベント
- 2月 8日 ノイエス朝日古本市
- 2月 9日 議会運営委員会、選挙区検討委員会、リベラル議員団会議
- 2月 11日 JCI前橋2月例会
- 2月 13日 宇宙少年団前橋分団「地質と地層」
- 2月 16日 議会運営委員会、本会議(第1回定例会開会)
- 2月 17日 議案調査
- 2月 18日 議案調査、分身ロボットカフェ Dawn 視察
- 2月 19日 群馬大学地域貢献シンポジウム「再考するスポーツ・運動の価値」
- 2月 21日 議案調査、麦わら屋の作家たちてん、JCI前橋通常総会
- 2月 22日 代表質問、政務代表者会議
- 2月 24日 一般質問
- 2月 25日 議案調査、ゲートキーパー講座
- 2月 27日 ぐんま狩猟フェスティバル2022
- 2月 28日 一般質問
- 3月 1日 一般質問
- 3月 2日 議案調査
- 3月 3日 環境農林常任委員会
- 3月 4日 DXに関する特別委員会
- 3月 5日 夢みる小学校(前橋シネマハウス)
- 3月 7日 議案調査、アトリエART・ON展 2022「かどで」訪問
- 3月 8日 議会運営委員会、本会議、政務代表者会議、
「tsukurun」オープン、NEWSPICKS オンラインセミナー「なぜ日本のジェンダー問題は解消されないのか」
- 3月 9日 議案調査
- 3月 10日 環境農林常任委員会
- 3月 11日 環境農林常任委員会
- 3月 12日 グローバル始動人×湯けむりフォーラム
- 3月 14日 議案調査
- 3月 15日 DXに関する特別委員会
- 3月 16日 第26回機械要素技術展
- 3月 17日 議会運営委員会、政務代表者会議、リベラル群馬議員団会議
- 3月 18日 本会議(閉会)
- 3月 19日 ぐんまの木製品展示会、宇宙少年団前橋分団「おかえりはやぶさ2-帰還カプセル特別展-」
- 3月 20日 室沢棚田サポーター倶楽部、前橋市消防団第2方面団訓練激励
- 3月 21日 インクルーシブ群馬フォーラム
- 3月 22日 世界遺産センター「セカイト」視察
- 3月 23日 ヘラルポニーパディウィーク
- 3月 24日 恵風会理事会、前橋東ロータリークラブ決起集会
- 3月 25日 JCI前橋3月例会
- 3月 26日 西毛広域幹線道路高崎工区(一部)開通式典、鈴木宣弘先生講演
- 3月 29日 フルッティロッシ視察
- 3月 30日 県立歴史博物館デジタル埴輪展示室見学
- 3月 31日 アーツ議連オンラインセミナー「公共文化施設は必要か?」



Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
& ブログ
やっています!
ぜひ一度覗いて
みてください



ゲートキーパー講座

投稿日: 2022年2月25日

日本ゲートキーパー協会の大小原さんに同行して小学校で行われた【味方になりきるコミュニケーション講座】を見学させていただきました(現在講師の勉強中!)
コロナ禍のため会議室と各教室をオンラインで繋ぎ、お休みしている児童は1人1台PCを活用して自宅から参加。(学校のICT環境や活用状況も拝見できて良かったです)
全国の自殺者は年間2万人を超え、子どもの自死や不登校も増加しています。
友だちや身の回りの人が落ち込んでいるとき、どんな声をかけたらいいんだろう?
悩みを相談されたら、どう答えたらいいのかな?
「頑張れ」と質問以外の声かけを身につけることが自殺予防として大切だと思います。
子どもから大人まで全ての方が、自分の身の回りの人の変化に気づき声をかけられるように【みんながゲートキーパープロジェクト】を学校や地域でどんどん広げていきたいですね!

3月は自殺対策強化月間です。
是非【味方になりきるコミュニケーション】市民向けゲートキーパー入門講座の動画もご覧ください▼



ぐんまの木製品展示会 [GUNMA WOOD PRODUCTS]

投稿日: 2022年3月19日

高崎オーパの8階で開催されたぐんまの木製品展示会にお邪魔しました。ヘッドホンやスノーボードなど群馬県の木材を使った個性豊かな製品がたくさんあって、どれも魅力的!(会場のレイアウトもおしゃれです)
ウッズスタート宣言コーナーでは、市町村の誕生祝品や木のおもちゃが展示されています。
木の積み木は、柔らかい雰囲気と創造性が養えて、木の種類による重さの違いや温度の違いを感じてもらえるとっても素敵なおもちゃです!
県内では、上野村、みなかみ町、川場村、沼田市、渋川市、藤岡市、東吾妻町の7市町村で新生児に木製おもちゃの贈呈が行われていますが、35市町村に広がるといいですね!
県では昨年からは、木育の考え方や必要性、木製品を暮らしの中に取り入れる意義などを学び、木育を推進する「群馬県木育インストラクター」の養成講座も実施しています。是非多くの方に「木育インストラクター」になっていただき、ぐんまの木の魅力を伝えてもらいたいです>(*^_^*)



サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

Akira OGAWA



1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、
群馬弁護士会へ登録。
2011年・群馬県議会議員(初当選)。
現在3期目・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?

小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.https://akira-o.jp Email info@akira-o.jp

